万年企業を目指して
中里体育施設 王人
管理センター ☎000-0102

学総県大会報告
新体制スタート
今後の予定

THE YUUOU MAISIN
勇往邁進

2026年（令和8年）
5月 25日 月曜日
Ver.102

発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886－2151

学総県大会報告

厳しい戦いを経て関東大会へ

5月15日（金）～16日（土）に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催された、第76回埼玉県高等学校総合体育大会陸上競技大会の結果は、期待されたH1種目、獲得目標4位以内に留まった。そのため、関東大会出場権獲得は0であった。

悔しさと期待と･･･
女4×400mR　7位　8種競技　8位

一昨年のインターハイ（女子）、昨年の関東入賞（男子）や県大会8位（女子）の系譜を引き継ぎ、1年間をかけて準備をしてきました。予選も決勝も、設定した通り、いやそれ以上の走りをしてくれましたが、それでも関東の出場権には届きませんでした。今、出来ることはやったとは言え、やはりこの結果には悔しさしかありません。

○1走 土江：「400mでの走りから、後半で力強く走ることを意識して、できるだけ前の順位で渡すことを目指しました。決勝では、一位でバトンを渡すことができず、また、今年も関東大会の出場権を逃してしまったことは、とても悔しいです。しかし、去年と比べて、緊張に負けず、精神的な成長を感じられて嬉しいです。たくさんの応援ありがとうございました。」

○2走 奥澤：「予選では、最初の200mまでのスピードをあげることが出来なかったので、決勝では予選の反省を活かして最初からスピードを上げていき、前を走る学校についていくようにしました。昨年と違って、予選から決勝でタイムを上げることができたのは良かったと思います。そのまま出来るだけ前の順位でバトンを渡すことが目標でしたが、予選と同じように残り50mのあたりで失速してしまって、順位を落としてしまいました。2走としての役割を果たしきれず、チームに貢献できなくて悔しかったし、実力不足を痛感しました。今回の大会では、全体を通して悔しい思いをたくさんしたけれど、その分必ず強くなります。 たくさんの応援とサポート、ありがとうございました。」

○3走 佐藤：「この冬季、マイルで関東に行くことに焦点を当てて練習してきたので、結果はとても悔しいです。シーズンに入ってから、感覚だけでなく、タイムでも自分の成長を感じられていいました。やっとマイルを走る自分に期待をすることができて、楽しみにしていたレースだったし、状態もよかっただけに、あの時もっとこうしていれば、もっとうまく走れたんじゃないかっていう局面が、いくつも頭に浮かびます。ですが、マイルで県大会決勝の舞台に立って戦えたことは、今までの陸上人生で1番嬉しかったです。関東を目指した日々は本当にかけがえのない時間だったし、貴重な経験でした。ここまで成長できた自分を褒めたいし、あの舞台まで自分を導いて、サポートして、一緒に戦ってくれた中里先生、島田さん、町田さん、チームのみんなには本当に感謝してもしきれません。たくさんの応援、本当に力になりました。ありがとうございました。」

○4走 西村：「私は1日目の400mで自分の強みを活かした走りができなかったので、何がだめで次はどうするべきなのかをしっかり考えてからマイルに向けた準備をしました。そうしたことで、1日目の走りを修正し、予選も決勝も自分の強みである後半の伸びを出すことができ、今できることは全部出し切れたと思います。決勝に進出でき、関東大会出場がすぐそこに見えていたので、とても悔しかったけれど、先輩方と走れたこの経験を無駄にせず、これからの練習に励み、もっともっと上に進んで行けるよう頑張ります。たくさんの応援ありがとうございました。」

8種競技での入賞は、指導者としても初めてです。何種目（特にやり投げ）は、個人でも戦える力を持っており、特徴を活かしつつ、他種目の得点を重ねられれば、来年は関東への路が開けます。今後の期待ができる種目です。

○佐藤：「よろしくお願いします。 狙った大会でしっかり自己ベストを更新し、競技を楽しみきれたのは良かったです。それでも戦えず、まだまだ実力不足を感じたので、今後さらに練習に励み、まずは今年納得のいく良いシーズンにします。来年は出場する全種目で上のラウンドに進み、みんなで勝ち切りたいです。」

安定した走りで関東大会へ
土江　400mH　5位

初日の400mの自己ベストに続き、2日目・3日目と400mHでも安定した走りをすることが出来ました。地区大会後に、歩数の検討をした結果、県大会はリスクを避けての歩数設定をしました。その為、前半のハードル間でつまってしまうことが続きましたが、冷静に後半までまとめることが出来ました。関東大会に向けては、歩数の設定を見直して、インターハイの出場権を獲得できるように、いい準備をしていきたいです。

土江：「自分の強みである後半の200mでしっかり走ることを目標にし、狙っていた準決勝と決勝を自己ベストで走ることができました。地区大会と比べて、全体的なスピードは上がりましたが、課題であるハードリングがかなり足を引っ張っていると感じました。関東大会までに、前半の歩数を変えてタイムロスを減らし、また、自分の強みを活かして、全国大会に進みます。」

新体制スタート
市立浦和の伝統を引き継ぎます

例年よりも早いタイミングですが、新体制がスタートしました。想定よりも厳しい結果となった県大会を経て、力強く前進をしていかなければなりません。プレッシャーはかかりますが、それさえもチームや個人の力に変えて、新たな歴史を構築します。

○部長　岡本：「先輩方が作り上げてきた市高陸上部の伝統を受け継ぎ、さらに全員で強くなれるチームを作っていきたいです。たくさんの素敵な仲間と一緒に頑張ります。よろしくお願いします。」

○女子代表　西村：「まだまだ実力も人間性も未熟で、自分に自信を持てないことの方が多いため、先輩方が部長に選んで下さったことで成長できる機会を頂けたので、今までの市高陸上部に恥じぬよう1人の選手としても部長としてもチームを引っ張っていけるように頑張ります。よろしくお願いします。」

○長距離ブロック長　河村：「先輩達が紡いできた伝統を引き継いでいきます。まだまだ人として未熟なところもあるのですが部長としてこの市高陸上部を引っ張っていけるよう頑張ります。」

○長距離ブロック女子代表　福田：「私はメンタルも弱くて今まで先輩に頼っていた部分が多く、不安なこともたくさんありますが、この機会を活かして競技の面でも精神的な面でも成長できるように頑張ります。これからも明るく、部長としてチームを引っ張っていけるように頑張るので、よろしくお願いします。」

五月二十六日（火）	○体育祭予行・予選
五月二十六日（火）	○体育祭
五月二十六日（火）	○体育祭予備日
五月三十日（土）～三十一日（日）	○記録会（於：川口）
六月一日（月）	○開校記念日
	○生徒臨休
六月六日（土）	○土曜日公開授業
六月十二日（金）～十五日（月）	○関東大会　於：茨城笠松　十三日：400mH
六月二十日（土）	○土曜日公開授業
六月二十日（土）～二十一日（日）	○埼玉県選手権